

# 学校設定科目（日本語指導）におけるICT活用

## 活用場面例

### ○「日本語Ⅰ」（主に高等学校1年生を対象）

#### 発表の場面

「自分のルーツ」をテーマとした単元で**動画編集ソフト（ビデオエディター）**を使って、自分を紹介する音声入りビデオ（3分程度）を作成。

#### 情報を整理する場面

「生きがい」をテーマとした単元で、社会人へのインタビューで得た情報を**学習支援ツール**を使って整理し、新聞を作成。

#### 自分の考えをまとめる場面

多読活動の時間に読んだ本（日本語）のあらすじを**学習支援ツール**を使ってまとめる。

### ○「日本語Ⅱ」（主に高等学校2年生を対象）

#### 共有・発表の場面

「高校生と大人」の単元で、教員へのインタビューを日本語で入力し、**学習支援ツール**を使って共有。その後、各グループのデータを表やグラフにまとめて**プレゼンテーション**を実施。

## ICT活用のメリット

### 取組みやすい

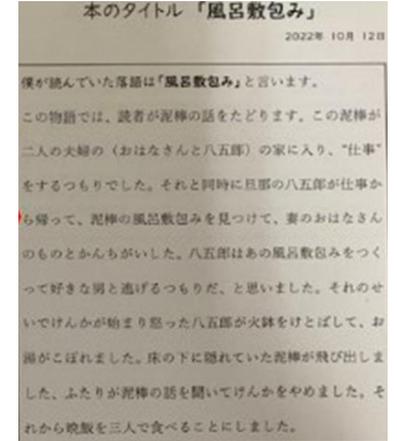
・外国人生徒等にとって「書く」ことは難しく、「伝えたい」ことがあっても伝えることが困難な生徒が多い。ICTを活用することで「書く」ことへのハードルが下がり、写真や映像等も用いて、**アウトプットをスムーズに**できるようになり、自分の考えや思いを伝える力の育成につながる。

### 視覚情報を使いやすい

・絵や図、動画等を用いやすく、日本語による表現の補助として視覚情報を使用することができる。「聞き手」／「読み手」どちらの立場の生徒にとっても理解しやすくなり、互いの考えや思いを伝え合う力の育成につながる。

岐阜県提供

## 【読んだ本のあらすじ】



- 活用したソフトや機能
- 【動画編集ソフト】
- 【学習支援ツール】
- 【プレゼンテーションソフト】

# 学校設定科目（日本語指導）におけるICT活用

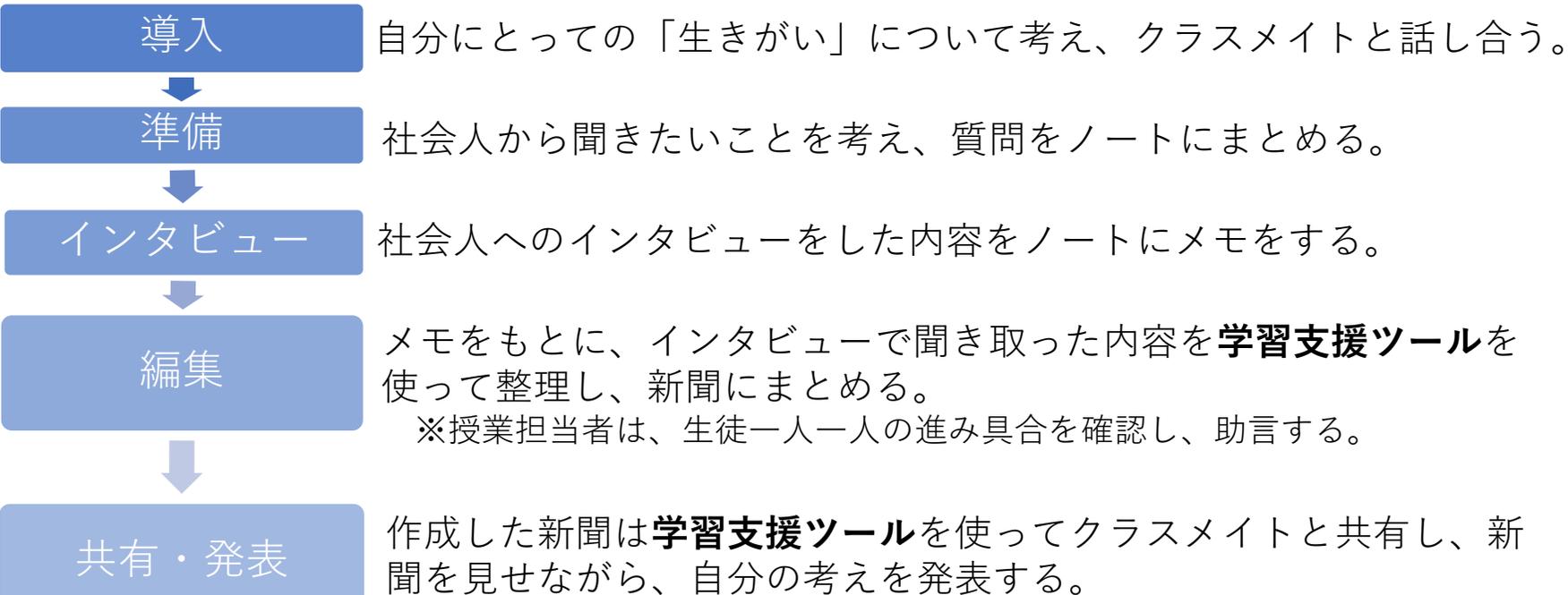
岐阜県提供

## 指導例(情報を整理する場面)

○単元目標：「生きがい」について社会人にインタビューし、新聞にまとめることを通して情報を的確に収集し、自らの考えを積極的に表現する力を身に付ける。

○対象： 象： 高等学校 1 年生

○単元の流れ：



○使用教材等：学校独自プリント

## 【作成した新聞記事】

**かっこいい先生**  
さん

「さんの仕事のやりがいを感じる時」

「さん、先生をしてるさのやりがいを聞いても色んな生徒たちの自信を伸ばして助けてました。生徒が自分のことを成長したときで、その成長の日、生徒が「ありがとう」と言ってくれた時に一番やりがいを感じました。」

「さんは、先生を退職して、ICTで働いています。これまで、ザンビアという国で二年間、ボランティアの活動をしました。二年間の中でコミュニケーションが難しいので、コミュニケーションをしながら、どんなボランティアが必要か、ザンビアの希望を探し、ボランティアを来てくれるの準備をする。」

「JICAは、どんな仕事をするのか」

「JICAは、インフラを建設するだけでなく、日本人の専門家やボランティアの力を取り合って作業することでも、ワンダ人の能力も構築します。」

「私は仕事のやりがいを感じるときは、仕事を楽しくむことができる時だと思います。楽しくむことというのは給料だけではなくて自分の選んだ仕事をやりがいを見つけて、相手もやりがいを見つけて、楽しくむことができるからです。」

「JICAは、色々な問題がある国を助ける日本政府の機関です。私は、とってもすごい機構だと思います。なぜなら、他の発展途上国も助けて、きれいな水を飲めるように、子供を学校に行かせるように、心が暖かくて、聞いてきました。」

「私は仕事のやりがいについて」

「私は仕事のやりがいを感じるときは、仕事を楽しくむことができる時だと思います。楽しくむことというのは給料だけではなくて自分の選んだ仕事をやりがいを見つけて、相手もやりがいを見つけて、楽しくむことができるからです。」